

| | | | | | | | |
|-----------------|--|---|------------|------------|-------------|-------|--------|
| 政策 | 12 安全で良好な水資源の確保 | | | | | | |
| 区分 | 妥当性 | 妥当 | コスト削減の余地 | 有 | 受益者負担 | 適正 | |
| | 上位貢献度 | 有効 | 類似事業の有無 | 無 | 成果向上の余地 | 有 | |
| 対象 | 市民 | | | | | | |
| 施策が目指す姿 | 計画的・効率的な水道施設の整備・維持管理や水需要に応じた適切な水源が確保され、市民に対する安全かつ良質な水の安定供給が図られている。 生活雑排水処理対策の推進が図られ、市民の快適な生活環境が確保されている。 治水・利水・環境・景観等に配慮した河川環境が形成されている。 | | | | | | |
| 成果指標 | ①上下水道整備・管理市民満足度 5年間(H30～H34)で65.0%（現状値63.0%） ②河川環境基準(BOD)達成率 5年間(H30～H34)で100.0%（現状値93.5%） | | | | | | |
| 目標達成状況 | | | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| | 成果指標1 [%] | 予定 | 63.00 | | | 65.00 | |
| | | 実績 | | | | | |
| | 成果指標2 [%] | 予定 | 94.40 | 95.30 | 97.20 | 98.10 | 100.00 |
| | | 実績 | 96.40 | 92.80 | 89.20 | | |
| | 成果指標3 [] | 予定 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |
| | 成果指標4 [] | 予定 | | | | | |
| 実績 | | | | | | | |
| トータルコスト (千円) | 予定 | 14,350,485 | 14,578,642 | 14,464,442 | 0 | 0 | |
| | 実績 | 13,953,824 | 14,578,642 | 14,464,442 | 0 | 0 | |
| 内部評価 | 貢献度 | 基本施策が目指す姿である、安全で良質な水の安定供給・生活排水処理対策の推進・良好な河川環境の形成を図る上で、本基本施策の目標の達成は大きく貢献するものである。 | | | | | |
| | 達成状況 | 単位施策においては、生活排水処理施設の整備・管理は目標値に達したが、他の単位施策については、目標値に達することができなかった。 | | | | | |
| | 課題 | 基本施策目標値達成のため、直接目標値に関連する水質基準向上のための各事業の向上及び市民に対しての普及啓発等の工夫が必要である。 | | | | | |
| | 取組方針 | 目標値達成のため、水道施設の布設替え計画の見直しや生活排水施設の利用促進、普及活動に努める。また、水路等の維持管理を適正に行い、良好な河川環境の形成を図る。 | | | | | |
| 外部評価 | 上水道の有収率について、昨年より、数値的には少し上がっているが、管の老朽化のスピードに布設替え工事が追い付いていないように感じる。一時的に投資は増えるが、このまま、有収率が低下するようだと、結果的に市民サービスにはマイナスになると感じるため、布設替え工事の充実を望む。河川環境基準（BOD）達成率について、昨年より低下している。BOD達成率は、決まっている地点で計測し、基準値を下回っているかの確認をしているとの説明であったが、近年の推移を見ると、年々基準値を超えている地点が増えてきているので、原因の追究をしてほしい。また、市全体としては、河川の水質は良くなっているのか、または悪くなっているのか補足的な数値として示していただきたい。 | | | | | | |
| 基本施策達成のための単位施策 | 施策コード | 名 称 | | | トータルコスト(千円) | 達成度 | |
| | 1203 | 河川環境の整備・管理 | | | 22,616 | 100 | |
| | 1201 | 上水道の整備・管理 | | | 4,873,450 | 99 | |
| | 1202 | 生活排水処理施設の整備・管理 | | | 9,568,376 | 91 | |
| | | | | | | | |

基本施策評価表 補表

| | | | |
|------|-----------------|--|---|
| 施策 | 12 安全で良好な水資源の確保 | | |
| 区分 | 妥当性 | 妥当 | 安全で良好な水資源を確保するため、有効であり欠かせないものである。 |
| | コスト削減の余地 | 有 | 各単位施策内の事業を見直し、また調整等を行うことで経費の削減が可能と思われる。 |
| | 受益者負担 | 適正 | 負担割合は適正である。 |
| | 上位貢献度 | 有効 | 基本施策の目標達成度による貢献度は高い。 |
| | 類似事業の有無 | 無 | 代替え事業等はない。 |
| | 成果向上の余地 | 有 | 各単位施策を進めることで成果も向上する。 |
| 内部評価 | 貢献度 | 安全で良質な水の安定供給・生活排水処理対策の推進・良好な河川環境の形成を図る上で、本基本施策の達成は大きく貢献するものである。 | |
| | 達成状況 | 河川環境基準(BOD)達成率については、目標に達していないが、単位施策についてはおおむね目標のとおり進捗している。 | |
| | 課題 | 基本施策目標値達成のために、単位施策及び各事業についての努力が必要。直接目標値に関連する水質基準向上のための各事業の向上及び市民啓発が必要。 | |
| | 取組方針 | 目標値達成のため、単位施策及び事業の実績向上を図る。 | |